

## 平成25年度 第2回 別府市立図書館協議会 会議録(要約)

【日時】 平成26年3月20日(月) 午後3時00分～午後4時20分

【場所】 別府市役所4F - 2会議室

【出席者】

<図書館協会委員> 土岐 修 会長、高橋 伸子 副委員長

秋月 順一 委員、大林 みどり 委員、

立川 敬子 委員、平石 栄二 委員、佐藤 瑠威 委員

<事務局> 本田(生涯学習課長)、溝部(参事)、後藤(課長補佐)、中西(係長)

岩本(図書館長)、小松(副館長)、宮原(主任)

【欠席者】 石川 順一委員

### 『 会 議 録 』(要約)

≪開会あいさつ等≫

(土岐会長)

足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。

別府市立図書館の運営、計画その他について、色々審議をし、市民のため、より多くの方が別府市立図書館を愛好していただくように、話し合いを続けていかなければならないと思います。また、新しい図書館をつくる夢をもって、進んでいく努力も同時にしていかなければとも思っています。

本について、寄贈の話がありまして、書架スペース、学習スペース、読書スペースのアンバランスが出てきている声を聞きます。スペースの拡張、駐車場の解決、サザンクロスと図書館の関係をうまくつなげたいと考えています。

本来、図書館協議会も別府市立図書館で行わなければならないと考えています。相乗り等の問題がありますが、現状を確認することを考えると、次回より図書館で話し合いをする必要があると考えています。

生涯学習課から、いい方向の回答を頂きたいと期待しながら、わたしの挨拶にかえさせていただきます。

(土岐会長)

それでは、お手元に配布しています会議次第により会議を行います。

最初は、「報告第1号 絵本・児童図書寄贈について」です。

事務局説明をお願いします。

(岩本館長)

報告第1号 絵本・児童図書寄贈について、寄贈者は、本郷 眞弓 様。図書館に対しての寄付の分を報告します。絵本・児童図書 約2,800冊(金額550万円相当)、書架等5台(金額155万8千円相当)で、現在準備段階です。書架と本が揃いましたら、市立図書館に「本郷文庫コーナー」を設けたいと思います。

(土岐会長)

ご意見その他ございますか。

(大林委員)

寄贈本を書架で置ける十分なスペースはあるのでしょうか。

(岩本館長)

学習席の一部を変更して置けるように考えています。学生、生徒が多い時期は、サザンクロスの空き教室の活用で対応していこうと考えております。

(土岐会長)

他にありませんか。なければ次に進みます。「議題1号 平成25年度図書館運営について」に入りたいと思います。では、事務局の説明をお願いします。

(岩本館長)

※平成25年度の市立図書館の運営について

⇒資料『平成25年度 第2回 別府市立図書館協議会』P4～P5

P8～P19参照

(小松副館長)

※ 平成25年度の市立図書館の運営について…4 関係部署との連携について、

5 その他 (1) 職員研修 等

⇒資料『平成25年度 第2回 別府市立図書館協議会』P5、P20、P21参照

(土岐会長)

事務局の説明で、平成25年度は、各種おはなしの会を初め特設コーナー、特別行事の実施により、市民が集いやすい図書館づくりに取り組んでいることが報告されましたが、今年度を振り返っての運営状況につきまして、ご質問、ご意見はございませんか。

(立川委員)

平成25年6月18日に広島の三次図書館が別府市立図書館に視察に来ていますが、どのような感想があったのでしょうか。また、職員の方が毎年様々な研修に参加していますが、研修の成果をどう取り入れていますか。

(岩本館長・小松副館長)

三次図書館より、3名視察にきました。理由は、当館のホームページで「読書ノート」(当館で借りた本の記録ノート/手作り)の存在を知り、参考にしたいということでした。

また当館の展示(ミニ特設等)方法についても、とても興味をもってくださいました。先方との話の中で、三次図書館の雇用形態は、2年前から司書採用を民間の第三セクター(市が100%出資)に雇用されていました。当館の司書は、2年ごとに更新の採用試験を受けていますが、それに比べて先方の司書は、セクターの社員として安心して勤務できるようになっていました。

研修については、スキル面については、全員出勤の際に周知をするようにしています。施設面については、展示方法等で参考になるところは、写真撮影等で参考にしています。

(岩本館長)

司書は、限られた勤務状況・施設の中で、研修等を活かし、大変頑張っています。

(立川委員)

施設面(建物)の視察かと思いました。図書ノートのようなソフト面の視察だとはとは思いませんでした。

(小松副館長)

読書ノートについては、利用者の方からご好評を受けています。視察対象として、取り組みを評価してもらい、嬉しく思います。

(土岐会長)

説明を聞きますと、サービスや展示等については大変頑張っているようです。生涯学習課で、図書館にスペースがよりとれるようにあれば、展示ももっと生かされると思います。他にありますか？

(立川委員)

子どものスタンプラリー等の利用者は348人、表彰状を渡した人55人等についてですが、多いと思います。広報等はどのようにやっていますか。図書館だけの広報ですか。

(小松副館長)

市報等、学校等にも図書館だより等にてやっています。子どものスタンプラリーは子ども対象のイベントで、それ様の広報をしました。スタンプも図書館のマスコットキャラクターのらいぼんスタンプを作成し、なるべく色んな所で、目に付くように広報や工夫をしています。

(土岐会長)

他にありませんか。なければ、議題1号平成25年度図書館運営状況について、事務局の説明を承認することといたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

=了解=

(土岐会長)

それでは、議題2号平成26年度図書館運営について事務局より説明をお願いいたします。

(岩本館長)

※平成26年度の市立図書館の運営について

⇒資料『平成25年度 第2回 別府市立図書館協議会』 P 6～P 9

P 23～P 31 参照

(土岐会長)

議題2号につきまして説明が終わりました。大変限られた施設の職員、司書が不足気味とありました。新年度につきまして、本郷文庫の開設、10月頃には郷土資料の電子化閲覧、好評だった図書館まつりになど市民の目線で色んな運営を計画しているようです。質問等はありませんか。

(立川委員)

様々な事業、計画があるようです。しかし、一番の問題は駐車場でありまして、何か

対策はありませんか。イベントの日のみ、近隣駐車場を利用するとか、シャトルバスの活用など、平成26年度に向けて何か手立てはないのでしょうか。

(本田課長)

秋葉通りの駐車場（岡田眼科の向かい側）について、空きが出る度、追加で契約する方向です。また、マルシヨク（別府流川店）の閉店による土地について、駐車場に向けての賃貸借が出来ないか動きましたが、先方の事業計画が見えないということで、実現できていない状況です。あとは近隣に新しい駐車場が出来ないか、アンテナを高くして待っている状態です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、南部地区倒壊危険家屋の問題がありまして、その所有者の方とお話ができれば、駐車場に転用できないのかも、建設部をとおして打診しているところでもあります。しかし、それについても現実的な話にはなっていません。公共交通機関に関係について、バス事業者に永石通りの便を何本か秋葉通りに路線変更してほしいとお願いをしましたが、事業者の方も採算的に現時点では難しいという回答を得ています。

いま、委員よりイベントの際のシャトルバスの提案がありました。その件については、予算の関係もありますので、現時点の回答は難しいですが、そういった方法も含めて、駐車場対策について平成26年度も引き続き取り組んでいきます。議会でも議員より、駐車場の関係で寄りつきが悪い等の話をよく伺っております。駐車上問題について我々も承知しておりますし、少しでも解決できるよう努力して参りたいと思っています。またご意見、ご提案があれば頂きたいと思えます。

(土岐会長)

サザンクロスの講座の兼合いもありますから、日程の調整・配慮をしながらうまく駐車場の使い方をしてほしいなと思えます。

(平石委員)

ワンコインバスの活用、旧南小学校の跡地の活用等はどうですか。

(本田課長)

いま旧南小学校跡地の活用について話が進んでいまして、いずれは利活用の方法が決まると思えます。それまでの間の駐車場の話も成り立つのではと思えます。

(平石委員)

旧南小学校から図書館まで、歩いてどのくらいかかりますか。

(岩本館長)

歩いて、5、6分かかります。また、旧南小学校の道路沿いにきれいな駐車場もあります。

(土岐会長)

そこら辺りも難しいでしょうが、確認してお願いしたいと思います。

(平石委員)

郷土資料の電算化については、インターネットで公開ですか。

(岩本館長)

図書館の閲覧になります。インターネットでは閲覧は出来ません。

(平石委員)

そうすると、駐車場の問題が解決しないと、閲覧の活用が難しいですね。

(土岐会長)

ネックになるのは、やはり駐車場問題になるようです。他にありませんか。

それでは、議題2号平成26年度図書館運営状況について、承認することといたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

=了解=

(土岐会長)

それでは、次に入ります。事務局「第3その他」について説明お願いいたします。

(岩本館長)

図書館協議会は、2年に1回視察研修ということで、他の図書館の視察を計画しています。平成25年度に司書達は視察研修に行きましたが、佐賀県の武雄図書館に予算をお願いし計画しています。また日程について、委員との調整しながら、9月、10月、11月を調整し決めたいと思います。

(土岐会長)

その他について意見、希望等ありましたらお願いいたします。

(秋月委員)

武雄図書館は先進的な図書館でして、是非参考にして、人口約12万の別府市ならではの

の新図書館を考えてもらいたいです。例えば温泉と図書館を一緒にするなどです。そうした時に、駐車場のスペースに限らず、蔵書スペース、ボランティア、学習スペース、視聴覚スペース等の特設、展示スペースも考えてほしいと思います。

別府市立図書館のソフト面は非常によいのですが、ハード面が非常に限られたもので、もったいないと思います。

長期的な展望を考えた際、教育長の諮問機関である新図書館設立のため構想委員会を作り、幅広く意見を取り入れるための視察にしてほしいです。予算の制約があると思いますが出来ないでしょうか。例として、旧南小学校に限らず、学校統合の動きもありますので、どこか広いスペースが空くと思います。そういった中で温泉と広いスペースの図書館が一緒になるように考えてほしいです。

(土岐会長)

というような要望が出てきております。なかなか行政の計画や予算があって、優先順位の高い方にリストアップされない厳しさがあります。その中で、先程ご意見いただいたような計画づくりを行われてほしいと思います。他にございませんか。

(立川委員)

現時点で、教育庁・生涯学習課は新図書館、スペース問題等をどのようにお考えでしょうか。以前協議会にて、南部出張所を改修するといった案がありましたし、毎年1万冊の蔵書が増えている状況で、本郷文庫が完成するとスペースがますますなくなっている状態だと思います。職員が一生懸命やられていますが、どうでしょうか。

(本田課長)

確かに改修計画の案を作成いたしました。結論から申しますと、一階の改修にあれだけの事業費をかけると新しい図書館の話はどうなるのかという面がございまして、我々も立ち止まって考え直しています。蔵書の関係については、平成25年度末には、約19万冊になります。本郷文庫で約3千弱追加になります。いよいよ書架のスペースがなくなってきます。

我々は、平成26年度の実施計画の中で、一階の南部出張所の西側部分を、閉架として使えるように、課の中で調整しております。財政、政策の当局と平成26年度に協議をして計画していきたいと思います。来年度の図書購入費1500万円について、予算特別委員会で可決されましたが、本を購入して書架スペースがなければ意味がありませんので、その点を十分配慮し、しっかり計画をたてて、市民1人当たりの蔵書冊数の1.77を達成できるように努力したいと考えております。

(岩本館長)

一階を閉架として活用させる件ですが、3階の書庫も同様でありまして、利用者が希望された本が、各階にあった際は、司書が持ち場を離れて取りに行くことになります。書庫のスペースが増える程、司書は持ち場を離れることになり、カウンター業務が儘ならない状況なることもご承知ください。

(平石委員)

私は、基本的に新しい図書館を作らなければならないと思いますが、この図書館協議会にて新しい図書館建設についての建議はできるのでしょうか。

(本田課長)

新しい図書館建設の建議については、図書館協議会の案件ではなくなります。ご意見を伺うことは可能ですが、新しい図書館建設に係ることについては、やはり別の組織が必要になってきます。

(平石委員)

そういったこと踏まえて、新しい図書館を実現し、別府の文化水準を上げていきたいです。

(土岐会長)

是非、新しい図書館に向けて、見通しがたてればと思います。他にございますか。

(立川委員)

現図書館のレイアウトの変更は、図書館側で変更できるのでしょうか。例えば、新聞閲覧コーナーを絵本の部屋とし、児童室と繋げパーテーションで仕切りを作る等など可能でしょうか。

(岩本館長)

2階のフロアーで収まれば可能ですが、現図書館の2階で、新聞閲覧コーナーの代わりとなるスペースはありません。1階、3階の書庫スペースの使用については、私共だけでは出来ません。生涯学習課の許可を得、市役所の各部署との協議が必要になってきます。以前そういった案がありましたが、現実的に難しいという回答をいただいています。

(小松副館長)

立川委員がおっしゃるように、絵本の部屋と児童室が繋がれば、利用者の方に対して大変便利がいいと思います。しかし現状においては、難しい状態です。そのような環境の



中で、私たちは、いかに利用しやすい図書館になるかを考えております。

(土岐会長)

新聞閲覧コーナーの1階や3階の使用し、広く図書館のスペースをとることについて生涯学習課としてどうですか。

(本田課長)

1階、3階の使用については、生涯学習課の話だけでなくあります。1階部分については、市民課、選挙管理委員会等との関係がございます。他にも、管理面について、安全面、職員の配置・体制、時間等の話もあります。委員がおっしゃるように施設を立体的に使えたらいいと思いますが、現状ではクリアしなければならない問題が多くあるということで、以前あった提案は見送りました。

図書館のソフト面として、これだけ頑張ってもらっているので、大変心苦しい状況です。私どもは、出来る所から、財政・政策と協議して頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

(土岐会長)

よろしいでしょうか。これからの図書館協議会は、運営その他について要望などを十分出しながら、この会を進めていきたいと思っています。それでは本日の図書館協議会は、これで終わりたいと思います。